

# 伊集院保健所感染症情報

2023年第17・18週（令和5年4月24日～令和5年5月7日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

## ● 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第15週	第16週	第17週	第18週	先週からの増減	第17週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	0.20	0.00	0.60	0.40	↓	1.89	→
RSウイルス感染症	-	-	-	3.33	2.33	2.67	1.33	↓	2.53	↓
咽頭結膜熱	3	1	-	0.00	0.67	0.33	1.00	↗	0.74	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	2.33	1.00	1.33	0.67	↓	0.55	↓
感染性胃腸炎	20	12	-	3.67	1.33	0.67	1.67	↗	6.75	↓
水痘	2	1	1	0.00	0.33	0.00	0.00	→	0.13	↗
手足口病	5	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.53	↓
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.33	0.33	0.00	↓	0.28	↓
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.33	0.00	0.00	→	0.57	↓
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↓
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			該当なし							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

## ● TOPIC 国内で麻しんの報告がありました

2023年17週に、国内において麻しんの報告がありました。2023年16週までに3例報告されており、うち2名は海外渡航歴（インドネシア，タイ）のある方です。

麻しんは世界で流行している感染症で、今後海外から持ち込まれる可能性や、そこから国内で広がる可能性が懸念されています。

麻しんは麻疹ウイルスが感染して起こる感染症で、発熱や発しんなどが主な症状です。感染力が強く、空気感染をしますので、**予防にはワクチン接種が最も有効**です。

※帰国後2週間程度は健康状態（特に、高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状）に注意しましょう。

※予防接種歴を母子手帳等で確認し、2回接種していない方は予防接種を検討しましょう。



## ● 注意すべき感染症

### ORS ウイルス感染症

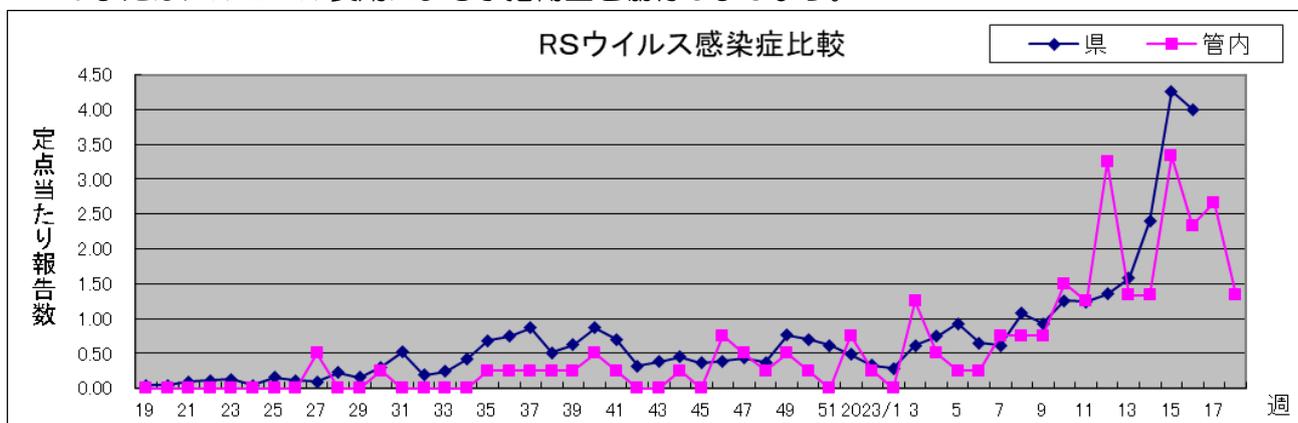
今週の伊集院保健所管内における RS ウイルス感染症の報告数は、前週の8人（定点当たり 2.67）から4人少ない4人（1.33）に減少しました。年齢別では、6～11 ヶ月、1歳（各2人）でした。

RS ウイルス感染症は、4～6日ほどの潜伏期間の後に、発熱、鼻汁など、かぜに似た症状が現れます。新生児や生後6か月以内の乳児や基礎疾患を有する**小児等が感染すると重症化しやすい**傾向があるので、注意が必要です。

また、**慢性呼吸器疾患や心疾患等の基礎疾患を持つ高齢者の入院を要するような症例、とくに肺炎にまで至ったような例では、死亡退院の率はインフルエンザに匹敵する**といわれています。介護施設での**集団発生も報告されており、注意が必要**です。

感染経路は、「飛まつ感染」、「接触感染」です。感染者と直接、濃厚に接触した場合や、ウイルスの付着したおもちゃやコップ、ドアノブなどに触れたり、なめたりすることによってウイルスが眼や咽頭（のど）、鼻の粘膜に付着して感染します。

予防には、咳エチケットや日常に触れる物品等のこまめな消毒、流水・石けんによる手洗いかまたはアルコール製剤による手指衛生を励行しましょう。



### ○ 感染性胃腸炎

今週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の2人（定点当たり 0.67）から3人多い5人（1.67）に増加しました。年齢別では、6～11 ヶ月、1歳（各2人）、10～14歳（1人）の順に多くなっています。

患者のふん便や吐物には大量のウイルスや病原菌が排出されるので、

★排便後、患者の看病や介護後、調理・食事前、外出から帰宅した時などには、**液体石けんを泡立てて流水で手を洗いましょう。**

★吐物やふん便は、**次亜塩素酸ナトリウムを用いて適切に処理**しましょう。

★下痢や嘔吐等の**症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない**ようにしましょう。

★食品は**中心部までしっかり加熱**して食べましょう。

特に、学校、乳幼児及び高齢者施設など集団生活施設で発生した場合は、集団感染のおそれがあるので注意が必要です。

